

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：荒瀬 美和

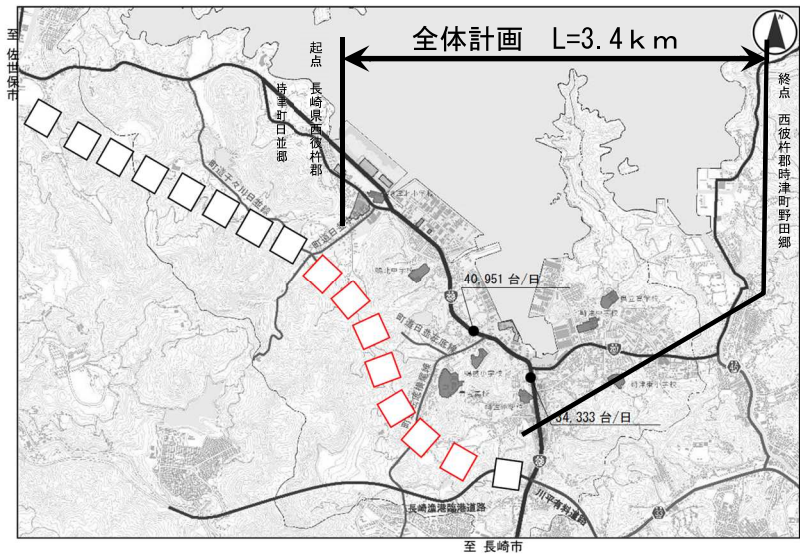
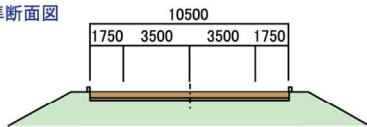
事業名	地域高規格道路 <small>にしそのぎ</small> 西彼杵道路 一般県道 <small>おくのひらとぎつ</small> 平時津線（時津工区）	事業区分	地方道	事業主体	長崎県
起終点	自： <small>ながさきけんにしそのぎくんとぎつちようひなみごう</small> 長崎県西彼杵郡時津町日並郷 至： <small>ながさきけんにしそのぎくんとぎつちようのだごう</small> 長崎県西彼杵郡時津町野田郷	延長	3.4 km		
事業概要					
一般県道奥ノ平時津線（時津工区）は、時津町中心部を通過する交通を分散することで、慢性的な交通混雑を緩和するものである。また、「西彼杵道路」の一部を形成し、地域間の交流促進や産業振興・観光振興の活性化に寄与するものである。					
H26年度事業化		H25年度都市計画決定		H27年度用地着手	
H27年度工事着手					
全体事業費	約143億円	事業進捗率	約88%	供用済延長	— km
		(令和3年3月末時点)			
計画交通量	13,100台/日				
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 17.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 10/143億円 事業費：9.0/142億円 維持管理費：0.89/0.89億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 166/166億円 走行時間短縮便益：156/156億円 走行経費減少便益：5.7/5.7億円 交通事故減少便益：4.4/4.4億円	基準年 令和3年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=0.9~1.3 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=14.0~19.1 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.1~1.3 (事業費±10%) 事業費：B/C=17.4~17.4 (事業費±10%) 事業期間：B/C=0.9~1.2 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=16.6~18.1 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・長崎市と佐世保市とのアクセス性の向上（地域間の連絡時間短縮による産業振興及び緊急医療の支援） ・都市内ネットワークの形成（時津町内の慢性的な交通渋滞の緩和による産業振興・物流活動等の活性化） ・緊急・災害時への対応（津波浸水区域の回避に伴う緊急医療の支援） 					
関係する地方公共団体等の意見					
・「時津町」、「西彼杵道路・長崎南北幹線道路建設促進期成会」より整備促進要望が行なわれている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
近隣の時津第10工区で埋立造成・販売等を進めており、隣接する国道206号の交通量が増加している状況。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地進捗率100%、事業進捗率88%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
地質の相違等への対策による工事の遅れが課題。令和2年度に全ての用地取得が完了し、用地取得率は100%となっており、引き続き早期供用を目指して整備を進めていくもの。					
施設の構造や工法の変更等					
地すべり対策工の追加、土質改良の追加、橋台施工に伴う仮設工の追加 トンネル内装板の材料変更を行うことでコスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図

位置図



標準断面図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。